

令和7年 第1回 地域連携推進会議実施報告書

- ・実施日：令和7年11月20日（木）
- ・実施時間：13：30～15：25
- ・参加者：角田主査様（北広島市市役所）、近主査様（北広島社会福祉協議会）、
田邊施設長様（長沼陽風施設長）小貫理事様（緑伸会）、藤川様（町内会）、國岡様（家族）、
河野様（家族）、杉本様（家族）、雫石様（当事者）
小嶋理事（アドバイザー）、北口所長、福田課長、山口係長、村松係長、西川係長、
蓮見係長、上野 計 17名
- ・実施内容：1・参加者紹介、目的の報告
参加者紹介を北口所長より紹介。
地域連携推進会議の目的（障害者支援施設及び共同生活援助において、地域の関係者と連携しながら事業運営の透明性やサービスの質を高めるための会議体）を説明。
- 2・グループホーム グリーンパーク北ひろ内見学（対応：西川係長）
ホーム内にある居宅介護事業「フィットマン」、児童発達支援・放課後等デイサービス「つなぐ」、グループホーム内の建物内（居室、食堂、職員室、入浴場所）を見学。
質問：居住されている年齢層は？
→回答：30代～70代の方が居住されている
- 3・グリーンパーク北ひろの事業計画説明（対応：村松係長）
 - ・令和7年度の事業計画の5つの柱
 - 1・共同生活援助というサービスを通して、
 - 2・意思決定支援を通して
 - 3・地域福祉を通して
 - 4・BCMを通して
 - 5・看取り援助
 - を通して主軸にして伝える。
- グリーンパーク北ひろの事業概要説明（対応：山口係長）
 - ・グリーンパーク北ひろのホームの特色や居住している年齢層の説明
 - ・サテライト型、単身ホームの説明
 - を行う。
 - 質問：・地震などの発生時の対応は？
→回答：BCP（事業継続計画）に基づきマニュアルが作成されており、震度の大きさにより緊急招集がなされるようになっています。

4・令和7年度上半期収支報告（対応：福田課長）

収支の話の中で、稼働達成できていない件の分析を説明する。

入院や週末帰省時に稼働が下がることも説明している。

短期入所事業の収支でこのまま継続できれば、目標値を達成できそうなことを伝える

感想：毎週末の外泊が多いので稼働率や収支を下げているのかな。本人帰りたい希望もあるため、帰省をなくすことは難しい。

→回答：帰省をなくすことではなく、ホーム内のイベントなどで楽しめることをこれから充実させていき、帰省以外でも楽しめる機会を今後も提供していく。

質問：Fスタッフの業務内容は？

→回答：現在10名のFスタッフを雇用している。法人全体では、40名のFスタッフが働いている。業務内容は、単独での業務は少ない（日本語の習得レベルに応じて）が、グループホームの留守番、電話対応、買い物の付添、入浴や食事支援のサポートを行っている。

感想：利用者様本人からもFスタッフが優しいとの声を聴いている

利用者様も、Fスタッフを気に入っているようです。（家族より）

5・その他

①・緑伸会の法人紹介（小貫理事より）

②・令和8年度に向けてグリーンパーク北ひろとの協働組織を計画

北口所長より、利用者様が生ききる最後まで関われる事業所として意見交換ができたり、利用者交流など事業所のサポーターとしてできることを今後作っていきたいため、意見・アドバイスをいただきたい。

意見：・利用者様の余暇活動などをサークル的な形で実施していけるとよいのでは。

・地域くるみの後援会として発足していくことも大切ではないか。

・スポーツなどのきちんとした指導者とも繋がれる体制づくりはどうか。

次回の会議までにいろいろな発想を考えて持ち寄ってくることにする。

③・参加された方より感想

・いろいろなことを聴けたり知ることができて有意義な時間でした。

・SNSなどで福祉について発信しているが、興味を持たれる方は少ないのが現状。ボランティアや福祉を取り巻く家族も高齢化を迎えているため、今後一緒に考えていける機会としていきたい。

・地域とのつながりは難しい中で、今回のような機会が増えていくことで北広島ならではのつながりができていきそうでよい機会でした。

・避難訓練など家族や地域の方も巻き込んで実施していくことで、地域の方にも知っていただける機会となっているため、継続していくことも大切。

・振り返り：・報告内容をある程度固定し定例化していく

EX：半年間のトピックス、収支報告、アクシデント報告など

・ホーム見学に関してはZOOMなどを活用しオンラインで実施していく

・駐車場を参加者の方には事前に周辺の留意点（一方通行等）や駐車方法の留意点

（排気ガスの配慮としての車の向き等）をお知らせしておくことや当日の職員（GP職員だけでなく、つなぐやフィットマン、DC職員等）に駐車場等の協力をお願いしておく
とよりスムーズであった

- ・実施日を年間予定で決めておくよかった。

利用者様代表が参加して下さっているので、利用者様が自身のこと（ホームでの生活の様子、個別支援で取り組んでいること、お仕事、余暇など職員が補足しながら説明）を話す時間があると理解の促進や、サービスの質や透明性の確保ができた。

- ・事業所見学を行っている時に、構成員の方が1番リアクションされていたのが、各ホームで取り組んでいる利用者参加型のイベント、利用者様が企画した行事の内容でした。
- ・当日の会議資料を事前に集約できるのであればご案内文とともに郵送することで、当日の議事進行がよりスムーズになる。
- ・運営職みんなで役割分担し、本会議を運営することで、ポジティブな印象を波及することができる。
- ・主任以下のスタッフも適宜参加させ、役割を設けて「自事業所事」として捉えられるように仕掛けていく。
- ・当事者に普段どんなことを感じているのかサービスに対する評価をダイレクトに話してもらう場が必要。

○会議の様子



